

学区社協だより

学区社協本年度のテーマ
「弱き人にとつて「仕えるもの」に!」

2千年の昔、ある人が言つた。偉い人になりたいなら「仕えるもの」になりなさい！コロナの災禍のなかで、ある人が言つた。人間の人間たる基準は弱者に接する態度で決まる！

猛烈なコロナウイルス禍のなかで

6月から開館予定です。
コロナ感染予防については、「換気」「消毒」や「三密」を避ける工夫（「貸し出し」「返却」を中心とする）を徹底していきます。

6月の開館日 7日(日)・14日(日)・21日(日)・
27日(土)・28日(日)
10時～12時（予定）

恒例となりました「ホタル観賞会」は5月に準備が全くできませんでしたので、『観賞会』は中止とさせていただきました。したがって、予定していた「灯ろうづくり」も今年は中止します。

なお、市民センターの貸し館業務が6月には再開される予定です。

再開されれば、6月初旬に役員会を開き、夏の取り組みなどを協議する予定です。

青少年育成学区民会議

山中比叡平学区



里山俱楽部

NPO比叡平

これまで多様な「出来ないこと」「してほしいこと」を支えてきたのですが、本事業を継承してもらえるところが（実はNPOに期待していたのですが）見つからず、次の社協を継いでくれる人の心、新しい何かを生み出す力が試されるのでしようが、身動きのとれないなかでは、たがいの無事と健康を祈りあうことから始めるしかありません。が、困った時に頼れるところはあります。まずは民生委員、学区社協にご連絡ください。

5月31日までには使い切ってください。

今年は、名前だけはかわいいのですが、「コロナのせいで子どもたちへの呼びかけはしませんでした。それでも中学生3人の参加があり、いちおう「おとなど子どもの遊び場学び場」となつてになりました。少し田んぼを広げたので、今年の収穫は少なくとも40キロになりました。少し田んぼを広げたにはなるでしょう。稻刈り、餅つきはみんなでできるよう願っています。

まち協との連携協力を深め広げる
学区社協と新たに発足した「まち協」との関係ですが、社協は他の諸団体と同様まち協の構成団体のひとつではあるが下部組織ではありません。まち協とはより広く深く連携・協力をしています。また、（福祉サービス券）による「頼みやすい」「頼まれやすい」で、地域に優しさを流通させるとの趣旨で始めた（福祉サービス券）（地域通貨）事業。

これまで多様な「出来ないこと」「してほしいこと」を支えてきたのですが、本事業を継承してもらえるところが（実はNPOに期待していたのですが）見つからず、次の社協を継いでくれる人の心、新しい何かを生み出す力が試されるのでしようが、身動きのとれないなかでは、たがいの無事と健康を祈りあうことから始めるしかありません。が、困った時に頼れるところはあります。まずは民生委員、学区社協にご連絡ください。

田植えしました

今年は、名前だけはかわいいのですが、「コロナのせいで子どもたちへの呼びかけはしませんでした。それでも中学生3人の参加があり、いちおう「おとなど子どもの遊び場学び場」となつて

いました。少し田んぼを広げたので、今年の収穫は少なくとも40キロになりました。少し田んぼを広げたにはなるでしょう。稻刈り、餅つきはみんなでできるよう願っています。

今年は、名前だけはかわいいのですが、「コロナのせいで子どもたちへの呼びかけはしませんでした。それでも中学生3人の参加があり、いちおう「おとなど子どもの遊び場学び場」となつて

いました。少し田んぼを広げたので、今年の収穫は少なくとも40キロになりました。少し田んぼを広げたにはなるでしょう。稻刈り、餅つきはみんなでできるよう願っています。

今年は、名前だけはかわいいのですが、「コロナのせいで子どもたちへの呼びかけはしませんでした。それでも中学生3人の参加があり、いちおう「おとなど子どもの遊び場学び場」となつて

いました。少し田んぼを広げたので、今年の収穫は少なくとも40キロになりました。少し田んぼを広げたにはなるでしょう。稻刈り、餅つきはみんなでできるよう願っています。

今年は、名前だけはかわいいのですが、「コロナのせいで子どもたちへの呼びかけはしませんでした。それでも中学生3人の参加があり、いちおう「おとなど子どもの遊び場学び場」となつて

いました。少し田んぼを広げたので、今年の収穫は少なくとも40キロになりました。少し田んぼを広げたにはなるでしょう。稻刈り、餅つきはみんなでできるよう願っています。

今年は、名前だけはかわいいのですが、「コロナのせいで子どもたちへの呼びかけはしませんでした。それでも中学生3人の参加があり、いちおう「おとなど子どもの遊び場学び場」となつて

いました。少し田んぼを広げたので、今年の収穫は少なくとも40キロになりました。少し田んぼを広げたにはなるでしょう。稻刈り、餅つきはみんなでできるよう願っています。

比叡平小学校

学校長 青谷 恭浩

「わたしたちの山中比叡平」

(1988.11.13発行)

は、小学校

創立10周年を機に、歴代PTA会長と

学校協力者の方々、教員により編集さ

れました。その中に開校時の様子を叙

述した一節があります。「校舎はでき

たといつても設備も必要最小限の物だけ

でした。敷地の周囲にはフェンスがあ

るだけで、木は一本も植えられていま

せんでした。（中略）図書室といつても

名ばかりでした。そこで、PTAの役員

は住民の皆さんに協力を求め、とりあ

えず、余った樹木の提供など、家庭にある

中古ではあっても、あまり傷んでいな

い小学生用の図書の寄贈をお願いし

ました。この10年間、住民の皆さんとの

協力を得て、PTAは特に図書室の本

を増やし、校庭を緑にすることに努め

ました。」：多くの方の情熱と努力に

感謝するとともに、この歴史を子ども

たちにも伝えていきたいと思います。

曜日に健康ウォーキングを行っています。新型コロナウイルスで陽だまり全サークル休止の時も、この健康ウォークだけは行つきました。

池ノ谷地蔵から林道を歩き、大文字

三角点往復のウォーキングは、平坦な

道とわずかな登りだけです。どなたでも

も参加して下さい。

校長 青谷恭浩

7月以降、再開が決まり次第お知らせします。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6

月の子育て支援事業（園庭開放・にこにこキッズ・ほのぼの会）は中止とします。

7月